

暑さなんかに負けないぞ！！ ひろーいプールでいい気持ち♪

8月18日(木)、第4回目の「もこピヨ」をおこないました。参加者は大人、子ども合わせて21名でした。『地球がワハハ』のダンスで元気にスタートした後はプール遊びの準備体操も兼ねて『動物体操1. 2. 3』をしました。子どもたちだけでなく保護者の方も元気に身体を動かして体操してくださっていました。

その後は待ちに待っていたプール遊び！！屋上に上がって広いプールを見ると、はじめはちよっぴりびっぴりしていた子もいましたが、だんだんと慣れてくるとわに泳ぎをしたり、フープのトンネルをくぐったり、ボールいれ遊びをしたり・・・と楽しんでいました。時間が経つにつれて顔に水がかかっても平気になってきて”3・2・1 ロケット、バビューン！！”としたり、バシャバシャと大胆にあそんでいた子もいました。また、おかあさん自身、水着になって一緒にプールに入って遊んでくださったり、水のかけあっこをしたりと親子で遊んでいる姿も見られほのぼのとした雰囲気でした。大きいプールが苦手な子はプールサイドの小さいプールやたらいで金魚すくいやジョウロ、お船のおもちゃなどで水遊びを楽しんで思い思いに夏を満喫しました。

参加者のアンケートより



- ・普段、なかなかプールに連れて行けなかったのすごく楽しめたと思います。
- ・広いプールや小さい子のためのプール、色々なおもちゃも用意してもらっていて水遊びを楽しんでいました
- ・屋上のプールに初めて入れてよかったです。下の子ども嫌がるかと思いきや、すごく喜んで一人でどんどん遊んでいて楽しそうでした。
- ・紙芝居や歌も興味をもって見ている姿に成長を感じることが出来て良かったです。

育ち合い

2011年9月発行 NO.126

東桃谷幼児の園

大阪市生野区勝山北3-4-33
TEL 06-6731-0209



「小さな事件」

園長 林 綾子

2年前に植えた”ヒメイチゴ”が今年はやっと実をつけ、だいぶ膨らんできました。今年初めて収穫できるかなと思い楽しみにしていたところ、ある朝青い実がちぎられ庭に転がっていました。さっそく「熟して赤い実の写真」と「ちぎられた青い実」をセットで渡し3歳から5歳まで話をしてもらうことにしました。しばらくすると、4歳児のA君がもじもじと事務所に入ってきて、何か言いたそうな素振り。”ははあー”と思ったり「取ってしまった？」と話しかけると「うん・・・〇×△とはっきり聞きとれないのですが「ごめんさい」を表情で伝えています。「みんなが楽しみにしていた実だから、今度から取ったらダメだよ」と言った後「でも、ちゃんと自分から謝りに来たのは勇気があったね」と付け加えると、とたんに元気になって意気揚揚と部屋に戻っていききました。しばらくすると、そのA君が5歳児のB子ちゃんを伴ってまた現れました。先程とはうって変わってはっきりと「はよ入りや。ちゃんと言いや」と先輩風を吹かして、打ちひしがれたB子ちゃんを促しています。そしてやっぱり自分は椅子に座って成り行きを見守る感じです。B子ちゃんに「どうしたの？」と尋ねると、さすが5歳児「間違っただけで実を取っちゃった」としよげながらもはっきりと伝えてくれました。先程と同じことを話すと、B子ちゃんもほっとしたように笑顔になり、二人で嬉しそうに部屋へ戻っていききました。それにしても、A君の変貌ぶりには笑ってしまいますが、小さな胸の内が大きく揺れ動いたのが感じられました。こうした小さな失敗を重ねながら心が鍛えられていくのかなと思います。子ども時代はいいことだけでなく失敗の経験も必要なんですね。

9・10月の予定

もこピヨ

9月15日(木) 製作”ゆらゆらフォトフレーム”

10月20日(木) 運動会

もこもこ
ランド

AM10:30~11:40(受付10:15~) 東桃谷幼児の園にて

10月12日(火) 運動会

AM10:30~12:00(受付10:15~) 生野フランシスコ学園にて

子どものつぶやき



1歳児のかわいいエピソードでした。

プール大好き! (0歳児の様子)

7月のはじめ、保育園でもプールが始まりました。暑い日差しの中、毎日プールを楽しむ子どもたちの姿が見られます。

0歳児のひよこぐみでは、赤ちゃん用のプールで沐浴したり、ジョーロやホースを使って水に慣れていきます。すっかり水に慣れた子どもたち、プールを見ると喜んでハイハイで近寄ってきます。プールの中でも元気いっぱい遊び回っています。ホースから出てくる水が大好きで、ホースの水が止まると「オイデ、オイデ」と手招きしたり、プールに浮かんだペットボトルをハイハイで追いかけるなど、大胆に遊んでいます。



今後の予定

10月8日(土) 運動会 雨天9日(日)

11月13日(日) バザー

* 詳細はポスターにてお知らせします。

街角紹介 ~祭りは楽しむもの!~

今回は東桃谷岡地車会の執行部をされていて、幼児の園の卒園生でもある金子清道さんのお話を聞かせていただきました。

岡地車会のだんじりは明治の初期から始まりましたが、昭和の初期には世の中の不景気が進み地域ではいったん休止することになりました。その後復活したものの、青年団の解散や地車庫の問題などで再度休止になるなど様々な歴史を辿ってきました。そして平成17年、子どもの頃だんじりを曳いた団塊世代やその子ども世代が中心となり、40年ぶりにだんじりを復活しました。以来、幼児の園にも参加を呼びかけていただき、毎年園のまわりを曳かせてもらっています。金子さんは、祭りを通して伝えていきたい強い思いがあることも話されていました。昔に比べて随分と地域の人同士のコミュニケーションが少なくなっている現在、地域の人がお祭りを一緒に楽しむことで、子どもからお年寄りまでが一つになり、地域を盛り上げていきたいということでした。「年上のものが、子どもたちに色んなことを伝えていきたい」「お祭りが好きでだんじりを曳きたい人なら誰でも参加できる、一緒に楽しみたい」「お祭りが終わってお祭りのしかった~と言ってくれることが何よりのご褒美です」という話を聞いて、地域に向けての強い思いが素敵だなと思いました。保育園の子どもたちもだんじりが大好きです。お祭りが近付くとコマがついているものはだんじりになり、細い棒はバチになり色んなところを叩いては“だんじりごっこ”を楽しんでいます。実際に曳かしてもらった時の顔は真剣そのもの。みんな本当にいい顔をしています。10月15日(土) 16日(日)は秋祭りです。保育園の子どもたちも今から楽しみにしています。

